

第6回「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群
世界遺産シンポジウム

「沖ノ島、その価値を

未来へ伝えていくために」



講演

「考古遺産の価値を伝え、遺産を守る」

青柳 正規 (アオヤギ マサノリ)

文化庁長官

大連生まれ。東京大学教授、国立西洋美術館長を経て現職。専門は古代ローマの考古学、美術史。著書に『エウローパの舟の家』、『古代都市ローマ』、『皇帝たちの都ローマ』など。



講演

「景観を慈しみ、遺産を守る」

西村 幸夫 (ニシムラ ユキオ)

東京大学教授・日本イコモス国内委員会委員長

福岡市生まれ。1996年より東京大学教授。2013年より先端科学技術研究センター所長。都市計画、都市保全計画、都市景観計画の専門家として多くのまちづくりにかかわる。主な著書に『西村幸夫 風景論ノート』、『都市保全計画』など。

パネルディスカッション

「地域ので、遺産を守る」

コーディネーター 三輪 嘉六 前九州国立博物館長

パネリスト 西村 幸夫 東京大学教授

高向 正秀 宗像大社宮司

地域ボランティア団体代表

日時

平成27年 5月 16日(土)
13:00~16:30(開場12:30)

会場

福津市文化会館カメラアホール

参加費

無料(定員500名:要申込)

主催

「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議

後援

文化庁、日本イコモス国内委員会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支社、NHK福岡放送局、RKB毎日放送九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送



第6回「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 世界遺産シンポジウム

「沖ノ島、その価値を未来へ伝えていくために」

日時

平成27年 5月 16日(土)
13:00~16:30(開場12:30)

会場

福津市文化会館カメラホール
〒811-3304 福津市津屋崎1丁目7番2号



◎交通アクセス

JR福岡駅から西鉄バス
「福津市役所津屋崎庁舎前」バス停からすぐ

※駐車場には限りがありますので、なるべく公共の交通機関でお越しください。

スケジュール

13:00~13:10 主催者挨拶

13:10~13:30 沖ノ島を守り伝える活動の紹介(20分)

- ・ボランティア活動の紹介
- ・「むなかた三女神記」公演



13:30~14:30 「考古遺産の価値を伝え、遺産を守る」(60分)

青柳 正規(文化庁長官)

考古遺跡は発掘調査によりその価値を顕在化する。日本の考古遺跡の価値を世界に向けて発信するにはどうすればよいか。

イタリア考古学者でもある講師の視点から日本の考古遺跡の価値を国際的に発信していくことの重要性を語る。

14:30~14:45 休憩

14:45~15:45 「景観を慈しみ、遺産を守る」(60分)

西村 幸夫(東京大学教授・日本イコモス国内委員会委員長)

昔から地域の人々に大切にされてきた遺産、その背景を理解し景観とともに守っていくこと、それは遺産の価値を高めるだけでなく人々の暮らしを豊かにする。

都市計画・景観保全の専門家として多くのまちづくりに関わった経験から、景観を保護することの重要性を語る。

15:45~16:30 パネルディスカッション
「地域の力で、遺産を守る」(45分)

コーディネーター：三輪 嘉六(前九州国立博物館長)

パネリスト：西村 幸夫(東京大学教授)

高向 正秀(宗像大社宮司)

ボランティア団体代表

無料・要申込(定員500名)

申し込み方法

電話又はメールにてお申し込みください。

※頂いた個人情報は受付管理のみに使用します。
第三者への提供はいたしません。

申し込み先

福岡県世界遺産登録推進室

TEL : 092-643-3162

E-mail : sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp

メールタイトルに「シンポジウム参加申込」といれいただき、
本文に氏名・電話番号をご記入ください。

(メールでお申し込みの方は受付完了の返信メールをご確認ください)

主催：「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議

後援：文化庁、日本イコモス国内委員会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、西日本新聞社、日本経済新聞社西部支社
NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、TNCテレビ西日本、FBS福岡放送、TVQ九州放送